

「ダビデの子にホサナ！」
聖書箇所：マタイの福音書21章1~17節

【1】 ホサナ、ダビデの子に

イエスのエルサレムに入城：非常に多くの群衆が迎えた

彼らは自分たちの上着を道に敷き、木の枝を切って道に敷くなどをして「ホサナ、ダビデの子に」と叫び、救い主を喜び迎えた。

「ダビデの子」が意味すること

神の約束：ダビデの世継ぎの子が王国を治め、確立する(Ⅱサムエル7:12~13,イザヤ9:7,ゼカリヤ34:23~24)

群衆：理想の王ダビデの子孫がメシアとして到来しイスラエルに勝利をもたらす(参照使徒1:6)。

【2】 子ろばに乗った王

イエスのエルサレム入城：

エルサレム入城が神の約束の成就であることを示した(マタイ21:4-5,ゼカリヤ9:9)。

ろばに乗ることを通して、ご自分が柔和な救い主であることを示した

イエスの入城は、世の王のパレードと様相が異なっていた

【3】 ダビデの子にホサナ

子どもたちに腹を立てた祭司長たちや律法学者

彼らは救い主について何も分かっていない子どもたちが、「ダビデの子にホサナ」と叫んでいると考えた

子どもたちを擁護するイエス

「子どもたちを来させなさい…天の御国はこのような者たちのものなのです。」(マタイ19:14)

神は、知恵ある者や賢い者には隠し、幼子たちに現してくださった(マタイ11:25~26)

▶みんなもよびな (八木重吉著「神を呼ぼう」新教出版社)

祈り：

子どものように素直な心でイエスさまと向き合うことができますように。

